

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)

【公表番号】特表 2010-516954 (P2010-516954A)
 【公表日】平成 22 年 5 月 20 日 (2010.5.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-020
 【出願番号】特願 2009-545854 (P2009-545854)
 【国際特許分類】

F 1 7 C 13/04 (2006.01)

F 1 7 C 13/00 (2006.01)

【 F I 】

F 1 7 C 13/04 3 0 1 Z

F 1 7 C 13/00 3 0 1 Z

F 1 7 C 13/04 3 0 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 1 月 11 日 (2011.1.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

低温ガス発生器 (1 1) の加圧ガスを充気可能な耐圧容器 (1 4) 用の閉鎖デバイスであって、前記耐圧容器 (1 4) は、低温ガス発生器 (1 1) を形成する閉鎖デバイス (1 2) が配置可能である容器開口部 (1 6) を備え、前記デバイスは、閉鎖位置にあるとき、環境と連通する少なくとも 1 つの出口 (2 6) を閉じ、前記少なくとも 1 つの出口 (2 6) を開く駆動装置 (2 2) によって、作動位置へと移動されるバルブ本体 (2 1) を有する、デバイスにおいて、

前記バルブ本体 (2 1) は、バルブ・ボックス (1 8) 内に滑動可能に配置され、前記バルブ・ボックス (1 8) 内の前室 (5 2) および前記耐圧容器 (1 4) の加圧領域によって形成される主室 (1 5) と連通し、

前記バルブ本体 (2 1) は、サイズの等しい、またはサイズのほぼ等しい、前記主室 (1 5) の方に向いた有効圧力面 (3 7) と、前記前室 (5 2) の方に向いた有効圧力面 (4 4) とを有し、前記主室 (1 5) の充填圧力にさらされることができ、

前記バルブ本体 (2 1) は、大気圧が開口方向に作用する外側有効圧力面 (6 4) と、前記大気圧が閉鎖方向に作用し、エネルギー蓄積部材 (4 7) が係合する別の外側有効圧力面 (4 8) とを有し、

開口方向に作用し、大気圧にさらされた前記外側有効圧力面 (6 4) に起因する圧縮力が、閉鎖方向に作用し、大気圧にさらされた前記外側有効圧力面 (4 8) および前記エネルギー蓄積部材 (4 7) の力に起因する閉鎖力よりも低いことを特徴とする閉鎖デバイス。